

# 心を満たす防災食を！

～日々の暮らしから考える、防災のかたち～

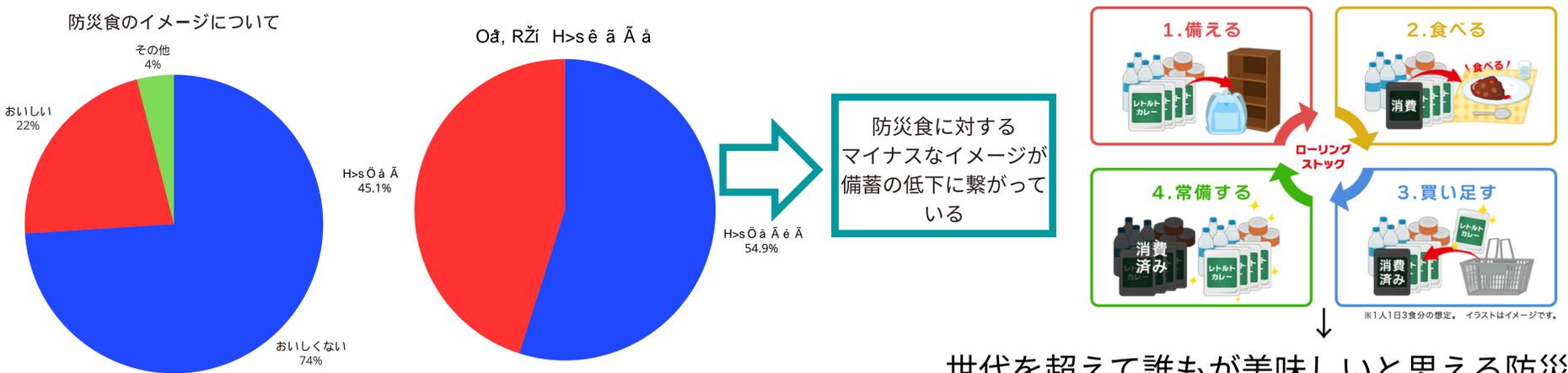
徳島県立阿波高等学校



## 目的：誰もが美味しいと思える防災食を作る

### 1. 【探究背景】

「防災食」＝「おいしくない」というイメージがある



世代を超えて誰もが美味しいと思える防災食が必要

#### ① 講演会やボランティアに参加



#### ② 企業との連携



#### ③ 学チャレアワードに参加



### 2. 【実践内容】

#### ① 地元の特産品を使った商品開発



#### ② 商品の特徴

項目	内容
安全・配慮	米粉を使用し、アレルギーに対応。 子供から大人まで食べられる
素材	地元産のさつまいもを使用。 素材の甘みを生かす
活用	非常時にも、普段のおやつにも食べれる

### 3. 【まとめ】

防災食には“おいしくない”という固定されたイメージがあるものの、一から防災食をつくり上げていく中で味や食感を改善すればそのイメージを大きく変えられる可能性があることが分かった。日常的に食べられる防災食が普及すれば、普段から食べる習慣が根付き、いざという時でも迷わず使える。今後は、長期保存を可能にする技術や品質の安定といった課題を踏まえ、よりよい防災食作りに向けて改善を続けていきたい。